

はじめに



甲府市は、美しい自然と永い歴史に育まれながら、多くの市民の皆さまの弛まぬ努力により、山梨の政治・経済・文化の中心として着実に発展し、本年3月には中道町、上九一色村北部地域との合併を行い、新「甲府市」としての第一歩を踏み出しました。

こうしたなかで、本市を取り巻く状況は、少子・高齢化の進展と人口減少社会の到来、循環型社会への転換、地方分権の推進など行財政運営の大きな変革期を迎えています。このような状況を踏まえて、甲府市の将来あるべき姿(都市像)を「人がつどい 心がかよう 笑顔あふれるまち・甲府」とした平成27年度までの10年間の市政運営指針となる、新たな総合計画を策定いたしました。

この都市像は、自然と人の営みが調和し、私たちのまちに集うすべての人々が、「住んでよかった」「来てよかった」と思えるまち、笑顔あふれ活力あるまちを市民の皆さまとともに築き上げていきたいとの思いから設定したものであります。

今後は、都市像実現のため本計画に位置づけた「構想推進の考え方」と「基本目標」を基調に、財政と事業評価を連動させた実効性の高い事業執行と市民の皆さまと「協働」でまちづくりに取り組み、このかけがえのない甲府市を次の時代に誇りと自信をもって引き継いでいきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本計画の策定にあたりまして、貴重なご意見ご提言をお寄せくださいました市民ワークショップの皆さまをはじめ、多大なご尽力を賜りました総合計画審議会委員並びに関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成18年6月

甲府市長 宮島雅展

